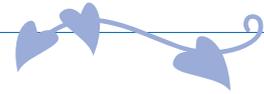
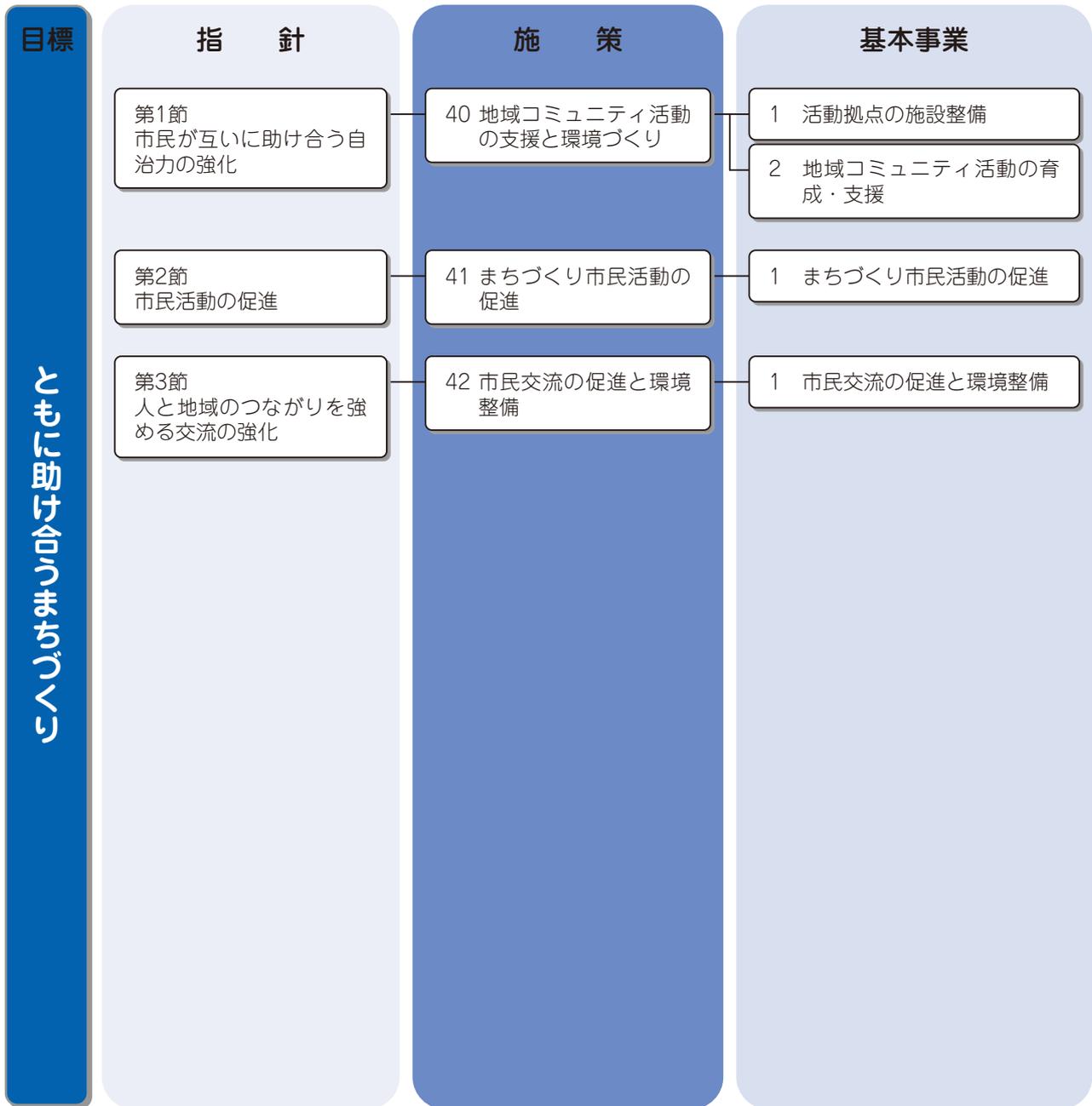


第6章 ともに助け合うまちづくり



施策の体系



第6章 ともに助け合うまちづくり



第1節 市民が互いに助け合う自治力の強化

施策40 地域コミュニティ活動の支援と環境づくり

現状と課題

- 都市化の進展とともに、住民の地域に対する関心が希薄となり、地域コミュニティの機能が以前と比べ低下していると言われています。しかしながら、防犯、防災、青少年の育成や福祉など市民ニーズが多様化し、地域課題が複雑化する中、様々な分野で地域コミュニティや市民活動団体などの活動の輪が広がっています。地域のことは地域の力で解決しようとする地域コミュニティの役割は、地方分権型社会において、ますます重要になってきています。
- 地域コミュニティの役割が重要となっている一方、町会・自治会への加入世帯は減少傾向にあり、地域社会の活動力の低下が危惧され、活動を担う人材育成、活動や組織の活性化が課題となっています。また、活動拠点である町会会館等の老朽化が進んでおり、耐震性が懸念されることから建替や耐震補強等の課題が生じてきています。このため、地域コミュニティの中心である町会・自治会の地域活動や施設整備を支援していく必要があります。
- 様々な分野で公益的な活動を行う市民活動団体が増えてきたことから、平成17年10月、市民活動の拠点施設として福生市輝き市民サポートセンターを設置し、市民活動を支援しています。また、市民活動団体の活動の拡大や団体の自立化を促進するため、市民活動団体事業支援補助金を交付し、活発な活動の展開を支援しています。今後は、町会・自治会と市民活動団体が連携し、地域課題の解決に向けた新たな仕組みを形成、発展できるよう支援することが必要です。

〔町会・自治会加入率〕

(各年10月1日現在)



出典：「協働推進課資料」

施策の方向

市民が相互に地域課題を解決できるよう、町会・自治会、市民活動団体への支援を充実し、協働と共生のまちづくりを進めていきます。

基本事業と取組

1 活動拠点の施設整備

- 町会・自治会が所有する会館の耐震診断や老朽化に対応する建設費・修繕費等、維持管理について支援を行っていきます。
- 福生市輝き市民サポートセンターの機能と管理運営方法を充実していきます。

2 地域コミュニティ活動の育成・支援

- 町会・自治会が行う地域活性化事業への助成を行っていきます。また、市民活動団体の設立や公益的事業への取組を支援し、活動の自立化を図っていきます。
- 公益的な地域コミュニティ活動を活性化するため、公民館などとの連携により、人材の育成に努めていきます。

成果指標

指標の内容		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	輝き市民サポートセンター利用者数	3,398人 (H20)	4,000人
指標2	地域コミュニティ活動参加率	44.7% (H21)	50.0%

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
活動拠点の施設整備	町会等会館運営費補助	11,550	
	町会等会館建設費等補助	7,955	
	町会等会館耐震診断補助	500	
	輝き市民サポートセンター運営事業	32,940	
地域コミュニティ活動の育成・支援	町会活動補助	19,515	
	地域活性化交付金	45,940	
	市民活動災害補償制度	3,165	
	市民活動団体事業支援補助	3,500	

第2節 市民活動の促進

施策41 まちづくり市民活動の促進

現状と課題

- 地方分権型社会では、まちづくりの課題を市民と行政がともに認識し、役割を分担して協働のまちづくりを進めていくことが求められています。このため、市政情報を積極的に提供し、市民と情報を共有してまちづくりに参加する市民の活動を支援していく必要があります。
- 少子高齢化や地球温暖化など近年の様々な社会問題に対応した地域での活動が広がり、市民の学習への意欲が増してきています。市民が生涯学習の機会を得た知識や学んだ成果を地域での活動に生かし、市民活動が促進されることが望まれます。このため、生涯学習の機会と内容を更に充実し、だれもが気軽に参加できる学習環境を整備していくことが重要です。
- 市民活動団体・NPO・企業など、まちづくりの担い手となる意欲と能力を備えた多様な団体が活動を始めています。平成17年10月に福生市輝き市民サポートセンターを設置し、まちづくりに貢献する市民活動の拡大や団体の自立化を促進し、活発な活動展開を支援しています。

〔輝き市民サポートセンター利用者数及び登録団体数〕



注) 輝き市民サポートセンターは平成17年10月1日開設。

出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

市民の学習環境の整備を行い、市民のまちづくりへの参加意識の醸成を図っていきます。また、市民が得た知識や学んだ成果が地域で生かせるよう、体制の整備に努めるとともに、まちづくりや市民活動への活性化につながるよう支援し、市民活動を促進します。

基本事業と取組

1 まちづくり市民活動の促進

- 市民への積極的な情報提供や市政出前講座などにより、市民と行政の情報共有に努めていきます。また、市民の学習機会の充実を図り、まちづくりや市民活動に参加する意識の醸成を図っていきます。
- 福生市輝き市民サポートセンターによる市民活動団体への活動支援の充実努めていきます。
- 市民が学習により得た知識や成果を地域で生かせる環境を整備し、その活動を支援するとともに、まちづくりを担う市民活動を促進していきます。

成果指標

指 標 名		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	輝き市民サポートセンター市民活動登録団体数	117団体 (H20)	130団体

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
まちづくり市民活動 の促進	市政出前講座		
	輝き市民サポートセンター運営事業 (再掲)	32,940	
	市民活動災害補償制度	3,165	
	市民活動団体事業支援補助	3,500	

第3節 人と地域のつながりを強める交流の強化

施策42 市民交流の促進と環境整備

現状と課題

- 地域における交流や共通の目的などによる地域を越えての交流、また、その他様々な形で市民相互の交流が行われています。しかしながら、一方では市民の生活や価値観の多様化により、地域のつながりが希薄化しており、地域の人々が助け合って生活していくといった相互扶助の機能が低下しています。
- 社会状況の変化に伴い、防災、防犯、福祉、環境問題等の地域課題が増加してきています。また、核家族化の進展や一人暮らしの世帯が増加している中で、子育て世代や高齢者などが抱える様々な問題を市民の交流や相互の協力などにより解決を図り、安心して生活できる地域社会の構築が求められています。
- 市内には、町会・自治会が設置した町会会館などがあり、活動の拠点となっています。また、地域会館をはじめ、公民館、図書館などすべての市民が利用できる施設については、市民の利用が促進されるよう様々な取組を行っています。今後、更に市民の交流が活発となり、人と地域のつながりをはぐくみ、ともに助け合うまちづくりの推進が求められています。

〔地域会館延べ利用者数及び利用件数〕



出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

市民交流を活発化し、市民が相互に協力して地域で助け合い、安心して生活できる地域社会を目指します。

基本事業と取組

1 市民交流の促進と環境整備

- 地域コミュニティにおける市民交流の促進を図るため、情報提供の充実に努めていきます。また、地域課題の解決、市民が相互に助け合う新たなコミュニティづくりなどの検討を行っていきます。
- 市民交流や市民ニーズに対応した施設として、地域会館の利用促進を図るため、その在り方について検討を行うとともに、施設の老朽化のため改修を行っていきます。

成果指標

指 標 名		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	地域会館延べ利用者数	127,877人 (H20)	131,000人

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業(取組)	事業費(千円)	主な事業(取組)
市民交流の促進と 環境整備	地域会館管理費	271,950	
	福東会館管理業務委託等	24,205	
	わかぎり・わかたけ会館改修工事 (再掲)		